

学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針

□大学全体

<学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）>

愛知大学では、「世界文化と平和への貢献」「国際的教養と視野をもった人材の育成」「地域社会への貢献」という建学の精神をふまえ、「高い教養と専門的職能教育を施し、広く国際的視野をもって人類社会の発展に貢献しうる人材」の育成を全学の教育目標として掲げ、各学部・学科ごとに教育目標（教育研究上の目的）および学位授与方針を定めて教育を実践しています。本学は以下のような資質、能力および知識を身につけることを全学生に求めます。なおかつ、学位授与にあたっては、各学部・学科が定める科目区分毎の卒業必要単位数および専攻もしくはコース別の履修要件をすべて満たし、厳格な成績評価を経ることにより総計 124 単位以上修得することが必要です。

- (1) 各学部・学科の専門知識・技能および情報処理等の汎用的能力を身につけることで、筋道を立てて物事を考え、課題を解決することができる。
- (2) 幅広い教養、豊かな人間性および社会的倫理観を身につけている。
- (3) 社会の諸事象について、主体的かつ総合的に判断できる能力を身につけている。
- (4) 国際的な視野から世界と日本を見つめ、多文化共生をめざす態度とそのためのコミュニケーション能力を身につけている。
- (5) 多様な人々と協力して地域社会に貢献する意欲と能力を身につけている。

<教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）>

愛知大学では、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に示された人材の養成を実現するために、学部の枠を越えて履修する「共通教育科目」と各学部・学科別に設置された「専門教育科目」からなるカリキュラムを編成し、実施しています。

- (1) 「共通教育科目」は、大学教育への導入・適応を促すとともに、大学における学習・研究に必要な基礎的知識や技能、論理的な思考方法、総合的な判断力、グローバル化する社会に求められる実践的な外国語運用能力、さらに IT 化時代に必要な情報処理能力を養成することを主たる目的として設置されています。これらの目的を達成するため「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「総合」および「体育」の 7 分野に分けて科目を設けています。
- (2) 「専門教育科目」は各学部・学科が養成をめざす専門分野の科目です。多くの学部では、教育の専門性をより高めるためにコースもしくは専攻を設けています。授業科目の中には、講義科目のほか、各学部・学科の方針に応じて、演習や実習、卒業論文・卒業研究、フィールドワーク等が含まれます。また、いずれの学部でも大学教育への導入・適応を促すため初年次に演習科目を置いて少人数教育を実施しています。

□経営学部 経営学科

<学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）>

経営学部経営学科では、厳格な成績評価にもとづいて履修規程に定められた科目区分ごとの卒業必要単位数およびコース別の履修要件等をすべて満たしたうえで、総計 124 単位以上を修得し、さらに経営、流通・マーケティング、情報システム、国際経営などの諸分野の専門知識と実践的スキル、および国際的教養と視野をもち、ビジネス社会等で活躍できる能力を備えた学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。

<教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）>

経営学部経営学科では、大学における学習に必要な基礎的能力を養成し、広範な視野と教養を身につけるとともに、ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際経営の広義の経営学の基本的な知識と専門的な知識を体系的に習得し、有為な人材を育成することを目標としています。そのために、以下のような方針にしたがってカリキュラムを作成しています。

- (1) 専門教育科目 経営学全般の基本的知識を習得できるように、学科共通部門の科目を設け、必修 2 科目 4 単位、その他 2 科目以上を履修したうえで、上記の 4 コースを設定して、広義の経営学を細分し、より専門的な内容を体系的に学習します。ビジネス・マネジメント部門は、①コース必修科目 2 単位、②コース所属科目から 8 科目 16 単位以上、③経営学科専門教育科目および経営学科が指定する会計ファイナンス学科専門教育科目 15 科目 30 単位以上、流通・マーケティング部門は、①同 2 単位、②同 16 単位以上、③同 30 単位以上、情報システム部門は、①同 2 科目 4 単位、②同 16 単位以上、③同 28 単位以上、国際経営・地域ビジネス・ビジネス実践部門は、②同 16 単位以上、③同 32 単位以上、それぞれ履修をします。さらに、各コースとも、演習部門に属する専門演習 8 単位を必修科目とし、総合的な応用力を涵養することを期しています。その他、法学部、経済学部の科目の履修によって学際的な学習の便宜を図り、実務的な語学やビジネスの科目を設け、インターンシップ学習の単位認定を行っています。
- (2) 共通教育科目 共通教育科目では、大学における学習・研究に必要な基礎的能力の養成、および幅広い視野と豊かな教養を身につけるための科目を配置しています。外国語については、第 1 外国語および第 2 外国語を必修とし、グローバルに活躍できる人材の育成に対応しています。

学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針

□経営学部 会計ファイナンス学科

<学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）>

経営学部会計ファイナンス学科では、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数およびコース別の履修要件等をすべて満たしたうえで、厳格な成績評価を経ることにより総計 124 単位以上を修得した学生に学位を授与します。科目の設定は、社会的ニーズの高い会計やファイナンスについて、学問的かつ実践的な内容を提供するよう努めており、実務社会において活躍できる能力を備えた学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。

<教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）>

経営学部会計ファイナンス学科では、専門性の高い教育を体系的に行い、より高度な会計学やファイナンスの理論を習得することを目的とする教育理念にしたがい、多様化する社会のニーズに対応できる人材、専門的な知識を活かしつつ、実社会で幅広く活躍できる人材を養成することを目標としています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。

- (1) 会計学やファイナンス理論の全般的・基礎的知識から専門知識までを理解できるよう、体系的・網羅的に科目群を配置し、専門性の高い教育を行い、高度な会計学やファイナンス理論の知識を習得することを目標とします。さらには、会計ファイナンス学科の専門知識を広く企業・産業・社会に活用するため、経営学、経済学、法律などの隣接学問分野に関する科目を配置しています。
- (2) 社会的なニーズに対応できる実践的な教育・研究を実現させるという学科の目的にしたがい、基礎となる簿記教育を入学直後から少人数クラスで開始し、2 年次からは専門的かつ体系的な学習のために「アカウンティング」と「ファイナンス」の 2 コースに分け、基礎的科目から発展・応用科目までを段階的に配置しています。外国書講読を演習科目（必修科目）として設定しており、専門的な英語能力の向上にも努めています。
- (3) 専門分野以外にも、広い視野と豊かな教養を備えた人材を育成することを目的として、大学における学習に必要な基礎的能力を養成すべく、共通教育科目として外国語、教理・情報、自然、社会、人文、体育などの科目を配置しています。外国語については、第 1 外国語および第 2 外国語を必修とし、社会・経済の国際化に対応しています。

卒業必要単位数（124 単位以上）の配分については、学科のもつ専門性と広い視野と豊かな教養を備えた人材の育成という大学としての教育理念から、専門教育科目を 64 単位以上、共通教育科目を 34 単位以上（外国人留学生については 32 単位以上）、それ以外は自由選択科目として全体から修得することを求めています。